

**【港南区】平成 29 年第 3 回区づくり推進横浜市議員会議
議事録**

開催日時	平成 29 年 9 月 4 日（月） 午後 3 時 30 分～午後 5 時 00 分
場 所	港南区役所 5 階 特別会議室
出席者	<p>【座長】みわ智恵美議員</p> <p>【議員：4 名】 田野井一雄議員、瀬之間康浩議員、安西英俊議員、山田桂一郎議員</p> <p>【港南区：28 名】 齊藤貴子区長、高田靖副区長、中井邦雄福祉保健センター長、佐藤英一福祉保健センター担当部長、山浦善宏港南土木事務所長 ほか関係職員</p>
議 題	<p>1 平成 28 年度個性ある区づくり推進費決算について (塩田総務課長説明)</p> <p>2 平成 29 年度個性ある区づくり推進費の執行状況について (塩田総務課長説明)</p> <p>3 平成 30 年度個性ある区づくり推進費予算編成の考え方について (塩田総務課長説明)</p>
発言の 要 旨	<p>田野井議員：人口減に伴う少子高齢化の課題がある。区長、区職員は、様々な機会に地域に出て状況を把握しており、予算にも反映している。一方で、2019 年、2020 年にはスポーツのビックイベントがある。また、横浜市で 2 か所目となる障害者スポーツ文化センター横浜ラポールが上大岡のウィリング横浜に入居予定であり、障害者施策を区民の皆様知ってもらうことが重要である。また、文化交流協会の支援では、現在、公会堂が 4 年間使用できない状況となっている。こうしたことを踏まえ、区役所 1 階の区民ホールの有効活用を、土日も含めて検討すべきではないか。</p> <p>齊藤区長：港南区政 50 周年に向けて、これから実行委員会を立ち上げます。港南区の文化、スポーツ、障害者施策は、これまで一つ一</p>

つ積み上げてきたものがありますので、区民の皆様の声聞きながら、50周年に向けた盛り上がり、またそれ以降も繋げられるよう、区民ホールの活用も検討していきます。来週からは、パラリンピック、オリンピックのフラッグ展示や障害者スポーツの展示を行う予定であり、多くの区民の皆様に見ていただきたいと考えています。

田野井議員：1階で音楽を行うと2階の窓口業務に影響がでることはよく分かる。子供からお年寄りまで集まれるイベント等を区役所1階の区民ホールでできるよう工夫していただきたい。また、ひまわりを通じた大崎市との交流もあるので、1階区民ホールで大いにPRしてほしい。

山田議員：地域スポーツ応援事業について、オリンピック、パラリンピックの機運を醸成する取り組みが必要である。港南区の取り組みはどうか。

馬淵地域振興課長：区の取り組みはこれからです。9月11日から、先ほど区長から話がありましたが、1階区民ホールで障害者スポーツを紹介するパネル展を開催します。また、9月3日からオリンピックフラッグ、パラリンピックフラッグが市内各区を巡回するフラッグツアーが実施されていますが、港南区ではパネル展に合わせて11日に展示する予定です。東京2020大会の公式法被を着て、フラッグ前で記念撮影できるなど盛り上げていきます。また、港南区最大のスポーツイベントである健康ランニングやフアジーボール大会で、オリンピック・パラリンピック、ラグビーワールドカップの機運醸成を図っていきます。

山田議員：がん対策と健康診断推進事業について、区民の30歳から50歳の若年層は、どのようながんが多いのか。

川井福祉保健課長：区民のデータがないので、国立がん研究センターの「がん登録・統計」2012年全国データになりますが、代表的ながんで比較すると、乳がんが最も多く、次いで子宮がん、大腸がん、胃がん、肺がんの順となります。

山田議員：がんは早期発見が重要である。区民のがん検診率はどうか。

川井福祉保健課長：横浜市が実施するがん検診の対象者は会社での受診機会がない方を対象としていますが、平成27年度横浜市がん検診事業の港南区民の受診率は、子宮がん26.9%、乳がん22.0%、

大腸がん 17.4%、肺がん 10.0%、胃がん 6.4%です。

山田議員：大腸がんは男性の死因 3 位、女性は 1 位である。大腸がんは進行するまで症状が分かりにくい。大腸がん検査には便潜血検査があるが、早期発見の確率は 50%、進行がんでも 1 回目の検査で見逃す確率は 20%ある。大腸がんには内視鏡検査が効果的である。港南区には大腸内視鏡検査を得意としている医師が沢山いる。自己負担にはなるが、大腸内視鏡検査の促進を P R すべきではないか。

川井福祉保健課長：大腸がん検診は、2 日分の便を採取する「便潜血検査」と肛門から内視鏡を挿入し直接大腸を目視する「内視鏡検査」があります。国の指針では一次検査は便潜血検査を勧めており、横浜市も検査の簡便性や身体的な負担、費用面など総合的に勘案して便潜血検査を採用しています。ご指摘いただいた内容は健康福祉局に伝えます。

みわ議員：専門家の意見では、便潜血検査を半年に 1 回行くと発見率を高められるという。1 年 1 回の検査頻度をあげるのはどうか。

川井福祉保健課長：ご指摘いただいた内容は健康福祉局へ伝えます。

安西議員：8 月 19 日の大雨に伴う土砂流出について、笹下三丁目の土砂流出は上永谷二丁目と違い、掌握しているがけ崩れの対象場所ではないということでしょうか。

渡辺港南土木事務所副所長：認識している場所ではなく、ノーマークでした。

安西議員：港南区は地形的にもこういう場所がたくさんある。何らかの形で掌握する必要があると思うがどうか。

渡辺港南土木事務所副所長：区内の類似箇所を探し把握するのは困難です。こういう場所は危ないという情報が地域の方から得られれば対応できると考えます。

安西議員：現実的にはそういう仕組みかと思うが、実際に災害が起きてからでは費用もかかる。情報収集を区連会等で伝えるなど、特定されていない急傾斜地を気にしていく仕事のあり方を要望する。

齊藤区長：この案件は、長雨が何日も続いていったということで、これから対策をとらなければいけないと思っています。連長会には、急傾斜地の指定のがけ地以外でもこういうことが起きることがあると、早速に情報提供しました。また消防団・消防署等にも

情報提供し、長雨が続いた際は近くのがけ地を皆で見て、少しでも異変があれば情報提供してもらい、消防署・警察署・区役所が連携して対応していきたいと思っています。

安西議員：今の仕組の中で効果的に予防できるよう、市民力が高い区なので、知恵をしぼり、仕組を作って、必要な対策をとれるようお願いしたい。

次に、上大岡のイトーヨーカドー跡地の防犯灯の現況と今後について、どうなっているか。

馬淵地域振興課長：市民局において、まずは仮設で対応し、9月1日から防犯灯が灯ったと聞いています。今後は、正式設置に向けて工事が始まることとなります。

安西議員：大規模な商業施設等が閉鎖されることで、周辺の明るさが影響を受けるというのは見落としがちだが、関係課は意識を持って対処してもらいたい。

また、安全安心メールは、定期的に情報提供してもらっているが、私も展開して多くの人が確認しているので、幅広い分野の情報を短い文章で効果的に配信してもらいたい。

瀬之間議員：動物の適正な飼育啓発事業について、猫を飼育している方を中心に猫に関する講習会を行うとのことだが、猫は登録制ではないので、どのように把握しているのか。

待永生活衛生課長：個別には把握していませんが、猫に関する講習会のチラシを動物病院やペットショップ等に置くなどして周知しています。

瀬之間議員：講習会は、どこでどのような方法で行うのか。

待永生活衛生課長：9月23日祝日に、区役所6階会議室を会場として、猫の飼い方に詳しい獣医師会の先生にお願いし、室内飼いやより良く人と猫が暮らせる方法を講習内容としています。

みわ議員：8月19日の大雨に伴うがけ対応について、笹下三丁目は区役所から土木に連絡し、上永谷二丁目は警察から区役所に連絡しているが、それぞれ一報はどこから入ったのか。

塩田総務課長：地域の方から連絡が入り、関係機関が情報を共有しながら対応しました。

みわ議員：地域の住民の方は、区役所か警察か、住民の判断で連絡すれば、連携する体制ができているのか。

	<p>塩田総務課長：警察・消防・土木に連絡網があり、常に連絡を取りあっていますので、どこに連絡をいただいても共有しています。</p> <p>みわ議員：日野南三丁目の国家公務員住宅の跡地について、一つは特別養護老人ホーム、もう一方が京急と三菱レジデンス共同開発のマンションができるということだが、歩道の拡幅などはないと聞いている。近隣の方は、マンションができることで通行が激しくなることや、新たに通学路ができることで、今の通学路に影響が出るかについて注視しているか。</p> <p>馬淵地域振興課長：詳細な情報をつかんでいないので一般論としての回答となりますが、通学路は、学校で安全性などを確認して決めると聞いています。また、子どもの安全対策協議会において、グリーンベルトや路面標示などの要望を受けた場合は、現地確認の上速やかに対応していきます。</p> <p>みわ議員：50年近く前に開発したまちづくりの道路幅なので、改めて安全安心のため、新たな開発が行われるところは注視してもらいたい。芹が谷二丁目のように、開発が行われる段階で取り組むよう要望する。</p>
備 考	